

在外日本古美術品保存修復協力事業 (コ04)

目的 日本の文化財は欧米を中心に海外でも多く所蔵されている。しかし、日本文化財の保存修復専門家は海外にほとんどおらず、多くの博物館などで適切な処置に窮している。そこで、本事業では海外で所蔵されている日本文化財のうち絵画作品及び漆工芸品の保存修復に関する助言等の協力を行う。また本格的な修復が必要な作品に関しては日本で修復して返還する。さらに、特殊な条件にある海外作品に関して、その保存修復方法の研究を行い、結果を公開、共有する。

成果 1. 作品修復を行った。

ア) クラクフ国立博物館(ポーランド)所蔵 宮川長春筆「遊女と禿図」1幅

イ) クラクフ国立博物館(ポーランド)所蔵 中林竹洞筆「瀑布溪流図」1幅

ウ) クラクフ国立博物館(ポーランド)所蔵 狩野中信筆「月下秋景図」1幅

以上3件、修復完了

エ) ナショナルギャラリーオブビクトリア(オーストラリア)所蔵 「親鸞聖人絵伝」4幅

オ) ナショナルギャラリーオブビクトリア(オーストラリア)所蔵 佐々木泉玄筆「般若図」1幅

カ) インディアナポリス美術館(アメリカ)所蔵 鈴木其一筆「八橋図・檜図」6曲1双

キ) インディアナポリス美術館(アメリカ)所蔵 曾我蕭白筆「太公望図・林和靖図」2幅

ク) インディアナポリス美術館(アメリカ)所蔵 雲谷等顔筆「煙寺晚鐘図・平沙落雁図」2幅

以上5件、修復中

2. 調査を行った。

ア) 国家評議会ハバナ市歴史事務所他(キューバ)、日本文化財の所在及びその保存に係る現況・支援ニーズ等の調査(2017(平成29)年6月5日～10日)

イ) グラッシ博物館・民俗学館(ドイツ)、絵画調査(2018(平成30)年3月25日～28日)

3. 研究を行った。

ア) ドレスデン国立美術館陶磁器資料館所蔵の日本美術品の共同研究事業

イ) 修復技法及び材料に関する基礎研究



絵画作品修復



調査風景(キューバ)

刊行物・『ドレスデン国立美術館陶磁器資料館所蔵の日本美術品共同研究事業報告書 染付時絵鳥籠装飾広口大瓶 -The Birdcage Vase-』東京文化財研究所 17.11

研究組織 ○加藤雅人、中山俊介、元喜載、小田桃子、橋本広美、五木田まきは、境野飛鳥、石田智香子(以上、文化遺産国際協力センター)、藤井佑果(保存科学研究センター)、江村知子(文化財情報資料部)、林昌宏、小田切真梨(以上、研究支援推進部)、杉山恵助(客員研究員)